

5,6 学年

臨床実習/
総合臨床教育

4年間の現場で口腔医学を実践します。



第6学年
井上 晏寿さん
(福岡県／上智福岡高校出身)

Voice

臨床実習で学びを深め、国家試験に向けた6学年へ。

5学年では実際の器具に触れながら、指導医の先生のもと患者さんの診療も行います。教科書だけではイメージしづらかったことも、実際に手を動かすことで、一つひとつの手技に理由があることを理解できるようになります。患者さんとのコミュニケーションの取り方も学び、共感したり、安心してもらうことを心がけて接しています。臨床実習は歯科だけでなく、内科や外科などもあって大変ですが、歯科医師を目指すにあたって全てが必要なことがあります。これらの経験を、6学年の国家試験に向けた勉強にも活かていきたいと思います。

4つの特長

- 01 - 第4学年までの学びを統合するカリキュラム編成
- 02 - 医療現場で診療への参加を重視した臨床実習
- 03 - 学内外の指導者によるきめ細やかな指導体制
- 04 - 医科実習を取り入れた口腔医学の実践

第5学年の代表的な1週間の時間割
(令和5年度)

[前期]					
	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5	医歯学連携演習／統合演習I／Global Medical English II	臨床実習			

第6学年の代表的な1週間の時間割
(令和5年度)

[後期]					
	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5	統合演習II	臨床実習			

PICK UP CURRICULUM

臨床実習

担当患者をもって指導医とともに歯科診療を行います。また、内科や外科などの医科実習もあり、総合的な診断と治療を学ぶことができます。



臨床実習

密着レポート

Clinical Training Report

4年間で身につけた知識と技術を臨床実習で確固たる力にします。

本学の医科歯科総合病院をはじめ、高齢者介護施設などにおいて、4年間を通じて学んだ知識と技術を基に臨床実習を行います。医療人としての心構えや倫理観を養いながら、検査、診断、治療計画、処置、予後評価にいたる基本的な歯科診療技能や患者さんへの接し方を、実際の治療の現場に立ち会うことで修得します。医科実習では、専門の指導者が全身の診方を丁寧に教えてくれるなど、貴重な体験ができます。口腔の健康を通じて全身の健康を守る口腔医学の第一歩を踏み出します。



医科

医科歯科総合病院は、医科の診療も充実した、日本医療機能評価機構から認定を受けた高い水準の総合病院です。医科実習では、外来や入院中の患者さんを対象とし、特に内科ではベッドサイドでの病歴聴取や全身的診察を学びます。高血圧、糖尿病、脳卒中、虚血性心疾患、誤嚥性肺炎といった歯科診療において重要な疾患について、実際の診察と症例検討によって、口腔医学に必要な全身の医学知識を学びます。



訪問歯科

医科歯科総合病院では、通院できない在宅高齢者や他院に入院中の患者さんへの治療を対象とした訪問歯科センターを開設しています。訪問歯科の診療では、むし歯治療や入れ歯などの作製とともに、嚥下機能のリハビリーションや口腔ケアを通して、患者さんのQOL向上を目指しています。キャンパス内の高齢者介護施設や近隣の病院で実習を行い、医科歯科総合病院とは違った状況の中での診療を体験できます。



保存科

いつまでも自分の歯で噛めるように治療を行い、その歯を口腔内で機能させるのが「歯科保存治療」です。医科歯科総合病院は、マイクロスコープや歯科用コーンビームCT装置を備えています。保存科では、歯内療法、保存修復治療においてそれらを駆使した精密な検査・治療を実施しており、他科・近隣歯科医院との連携にも積極的に取り組んでいます。臨床実習では、基本的な歯科保存治療の知識・技術・態度を身につけることに加え、最先端の機器、診療技術について学びます。



口腔外科

口腔外科は常に全身状態と関連付けながら口腔内の疾患を診断、治療します。主に、顎顔面口腔で手術を要する病気が対象で、全身麻酔や鎮静下での治療を行います。臨床実習では、小膿瘍の切開や口腔粘膜の縫合などの外科処置をマスターしてもらいます。また薬の副作用についても調べてもらい、科学的根拠に基づいた歯科医療の知識と技術の修得をめざします。